議案審議状況

本会議・委員会から

第2回定例会 本会議

◆狛江市税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて

【提案理由】

地方自治法第179条第1項の規定により、平成28年4月1日に専決処分したので、同条第3項の規定により、これを報告し、承認を求める。

【結果】賛成全員の承認

◆狛江市都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて

【提案理由】

地方自治法第179条第1項の規定により、平成28年3月31日に専決処分したので、同条第3項の規定により、これを報告し、承認を求める。

【結果】賛成全員の承認

◆狛江市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて

【提案理由】

地方自治法第179条第1項の規定により、平成28年3月31日に専決処分したので、同条第3項の規定により、これを報告し、承認を求める。

【結果】賛成全員の承認

◆平成28年度狛江市一般会計補正予算（第1号）

【提案理由】

一般会計予算を補正する必要が生じたため。

【主な質疑】

・認可保育所1園の施設整備の具体的な場所、規模は。

・今年度の待機児童数は。

・施設整備の今後のスケジュールは。

・災害対策用備品の内容は。

【結果】賛成全員の可決

◆狛江市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて（石川慶一郎氏）

【提案理由】

地方税法第423条第3項の規定により、議会の同意を求める。

【結果】賛成全員の同意

◆狛江第一小学校大規模改修工事（建築工事）請負契約について

【提案理由】

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の議決を求めるため。

【主な質疑】

・本会議の初日提案は間に合わなかったのか。

・3社の入札金額が同額だが、業者決定の理由は。

・選定業者の狛江市の実績は。

・工事のこれからの進め方は。

【結果】賛成全員の可決

第1回臨時会 本会議

◆平成28年度狛江市一般会計補正予算（第2号）の専決処分の承認を求めることについて

【提案理由】

地方自治法第179条第1項の規定により、平成28年6月28日に専決処分したので、同条第3項の規定により、これを報告し、承認を求める。

【結果】賛成全員の承認

◆平成28年度狛江市一般会計補正予算（第3号）

【提案理由】

一般会計予算を補正する必要が生じたため。

【主な質疑】

・スプリンクラー設置の経過説明を。

・国庫補助金申請の経過説明を。

【結果】賛成全員の可決

社会常任委員会

◆狛江市保育園設置条例の一部を改正する条例

【提案理由】

平成29年4月1日の狛江市立和泉保育園の民営化に伴い、狛江市立和泉保育園を廃止するため。

【主な質疑】

・三者協議の現状と内容は。

・嘱託職員の採用状況は。

・一時保育はどのようになっているのか。今後に向けての課題は。

・来年度の保育施設の数は。

・更地になっている土地の活用方法は。

・民営化した2園の検証はいつ行うのか。

・めぐみの森保育園現状は。

・保育職員の待遇の問題は。

【結果】賛成多数の可決

建設環境常任委員会

◆狛江市公共下水道事業（事業の一部）に関する業務委託（地震対策（覚東幹線）分）契約について

【提案理由】

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の議決を求めるため。

【結果】賛成全員の可決

平成28年度 一般会計補正予算（第1号）の主な内容（歳出）

（単位：千円）

民生費	児童福祉費	新設保育園整備事業	87,500
消防費	消　防　費	災害対策関係費	2,000
教育費	教育総務費	言語能力向上拠点校	500
		道徳教育推進拠点校	400
		伝統・文化教育推進校	413
		アクティブライフ研究実践校	300
		スーパーアクティブスクール研究実践校	300

所管事務調査で行政視察・意見交換を行う

総務文教常任委員会

◎18歳選挙権への対策について

5月26日、18歳選挙権への対策について東京都立狛江高等学校生徒会役員との意見交換を行いました。

当日は、委員7名、選挙管理委員会事務局長、生徒会からは10名が参加し、この7月から施行される参議院議員選挙に向けて、選挙や政治にどれくらい関心を持っているか意見交換をさせていただきました。生徒会からは、インターネット投票ができたらいい、誰に入れたらいいかわからない、もっと考える時間が欲しいとの意見が出ました。

意見交換をする中で、いかに若い人たち、特に選挙に行かない若者に興味・関心を持たせるかが、今後の課題だと感じました。

また、本委員会では「特別支援教育について」の調査も進めており、8月4日に言語聴覚士の中川信子さんに「狛江市の特別支援教育の現状」について、御意見を伺いました。

社会常任委員会

◎地域包括ケアシステムについて

5月31日先進市の千葉県柏市の行政視察を行いました。

柏市は、高齢者が増加していく中で、住みなれた地域で自分らしく老いることができるようにと、地域包括ケアシステムの具現化に向けて、市・東京大学・UR都市機構とが協力し、「長寿社会に向けたまちづくり」を推進しています。「自宅で安心した生活が送れるまち」として病気になっても在宅で暮らすことができるように、介護保険と医療が切れ目なく受けられるよう在宅医療を推進し、「元気で活躍できるまち」では、農業や生活支援、子育てなど各分野で「働く」仕組みを整え、生きがい就労の創設を推進しています。

「長寿社会のまちづくり」の説明を受けた後、高齢者と子育て世帯が融合し、在宅で元気に生活できるまちとしての豊四季台団地を見学しました。

狛江市における包括ケアを探求していきたいと思いました。

◎子供の問題について

7月22日「子どもの貧困対策」として足立区の行政視察を行いました。

足立区は、2014年「子どもの貧困対策本部」設置、2015年「子どもの健康・生活実態調査」と「未来につなぐ あだちプロジェクト（貧困対策実施計画）」を策定し本格的に取り組んでいます。全ての子どもたちが生まれ育った環境に左右されることなく将来に希望が持てる社会、生き抜く力を身につけ貧困の連鎖に陥ることなく自立していくこと、社会での孤立や、健康・成育環境の解決や予防。貧困対策に全庁を挙げて総合的に推進、特に「予防・連鎖を断つ」ことに主眼を置くこと。また「学校をプラットホーム」とし相談体制や関係機関と連携、シグナルを早期に発見、適切な支援、必要とする方への「つなぐ」シートの活用、食育重視などなど、総合的で、かつきめ細やかな施策を伺い感銘しました。

今後、委員会から提案ができるよう論議を深めていきたいと思います。